

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 環境厚生分科会	会議場所 第3委員会室	
		担当職員 山末	
日 時	平成30年9月14日(金曜日)	開 議	午後 3 時 30 分
		閉 議	午後 4 時 03 分
出席委員	◎平本 ○富谷 酒井 小川 齊藤 菱田 小島 馬場		
事務局	鈴木議事調査係長、山末主事		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員0名

## 会 議 の 概 要

### 1 開会

### 2 事務事業評価対象事業の論点整理

<平本委員長>

事務事業評価は、事業の目的や手法、成果、コスト、方向性を視点として評価を行う。実際の評価では、1事業45分の中で、説明約10分・質疑約10分、その後、委員間での議論を経て評価結果を出すということから、時間上の制約もあるため、議論の焦点とすべきことを事前に委員間で整理しておく必要がある。当日、その論点に沿った質疑を行い、適切な評価ができるよう、本日は論点整理を行う。

#### (1) 高齢者生活支援経費

<平本委員長>

事務局から資料の説明を。

<事務局主事>

(資料説明)

<富谷副委員長>

緊急通報装置設置業務委託料については、今年度から千円のコストを負担いただくことになっており、安心長寿の福祉助成金も削減されている。コスト削減によりサービスが縮小されてしまうのではないかと危惧しているので、現状を聞きたい。また、生活援助員派遣事業助成金についても実績が1件だけなので、それについても聞きたい。

<平本委員長>

他に意見はあるか。

<馬場委員>

敬老乗車券の販売について、移動の自由は非常に重要だが、それがどこまで徹底できており、どのように定着しているのか。

<平本委員長>

制度の内容と現状、啓発について聞きたい。

<小島委員>

緊急通報装置設置業務委託について、今年の台風により2～3日停電になった地域もあるが、停電になった時にはこれが機能しなかったのではないかと思う。業務委

託をしているが、代替的なことがあるのかどうか。これは論点としてではなく関連で聞ければと思う。

<小川委員>

緊急通報装置はどのようなものなのか。

<富谷副委員長>

ペンダント式のものや火災報知器等、いろいろな種類がある。これを設置することにより、高齢者の一人暮らしの安全が確保されると思うが、これまで負担がなかったものを1人千円の負担を取るようになったことでサービスが縮小されてしまうのではないかと危惧している。

<平本委員長>

以上の意見を論点としてまとめる。

## (2) 家庭相談員等設置経費

<平本委員長>

事務局から資料の説明を。

<事務局主事>

(資料説明)

<酒井委員>

人材の確保・定着に難しい点があると思う。有資格者の人に来てもらっても定着してもらえない仕組み・体制になっていない。家庭相談員の話ではないが、非常勤で来てもらっている専門性の高い人に正職員になってもらいたくても、その時の収入から大幅に下がってしまうためになってもらえなかったり、他のところに行ってしまう状況があるのではないかと思う。平成30年度から人数が拡充されたが、国の補助がついたからというだけでなく、きちんと定着してもらい、優秀な人を確保していく必要があるのではないかという意味で人材の確保・定着を論点としたい。

<平本委員長>

人材確保・定着・スキルを論点としたい。他に意見はあるか。

<馬場委員>

相談件数が年間で7,854件である。業務量や内容を論点としてはどうかと思う。

<平本委員長>

業務量や内容について報告いただきたいと思う。

## (3) ひとり親家庭等生活支援・相談事業経費

<平本委員長>

論点をどのようにするか。

<酒井委員>

国・府から補助金をいただいて実施している事業だが、高等職業訓練促進給付金事業は件数が少なく、これを利用しようと思った時のハードルが高いのではないかと思う。利用している人と利用していない人との違いを分析されていると思うので、それについて聞きたいと思う。例えば、子どもが病気になった時のことが心配で行けないのであれば、それに対するサポートを亀岡市で行うなど、いろいろなことができれば利用できる人も増えるかもしれない。足立区でもそのようなサポートをしているという話であった。利用しやすい形になっているのかどうかを確認したい。

<馬場委員>

事業を福祉団体に委託しているが、それが本市の福祉行政にどう蓄積されるのかということを知りたい。

<平本委員長>

これらの意見を論点としたい。

#### (4) 子ども・子育て支援経費

<平本委員長>

事務局から資料の説明を。

<事務局主事>

(資料説明)

<小川委員>

子ども子育て会議の内容や開催日数を聞きたい。また、いろいろな事業を行っているが、それぞれの事業の違いを知りたい。

<齊藤委員>

利用者数が書かれているが、本当に市民に広く利用されているのか。

<馬場委員>

子ども子育て支援事業計画の進捗管理を行っているが、どのような方法で行っているのか。

<平本委員長>

進捗管理の内容を具体的に聞いていきたい。

<齊藤委員>

これらの事業により子どもはどう変化しているのか、どう成長しているのかということを知りたい。

<平本委員長>

人数だけではなく、どのような効果があったのか、費用対効果はどのようなのかを聞いていきたい。

<酒井委員>

それぞれの事業の違いについて意見があったが、その場で説明を受けてもわかりにくいと思う。パンフレット等を見れば違いがわかると思うので、事前に見ておくとういと思う。

<平本委員長>

事業の違いを把握するための資料を提供いただき、事前に各委員にご覧いただければと思う。

### 3 その他

<事務局主事>

地方創生関連交付金等の資料を配付している。この資料については、明日からの決算審査において執行部から説明されるので持参願う。また、18日の決算全体会には「提出予定議案の概要」を持参願う。

散会 ～16:03